



2019年4月2日

各 位

会 社 名 株式会社ナルミヤ・インターナショナル
代表者名 代表取締役執行役員社長 石井 稔晃
(コード番号：9275 東証第二部)
問 合 せ 先 取締役執行役員専務 上田 千秋
管理本部長兼物流管理部長
(TEL. 03-6430-3405)

業績予想の修正に関するお知らせ

2019年2月期の通期業績予想につきまして、2018年9月6日に公表いたしました業績予想を、下記の通り修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正

2019年2月期 (2018年3月1日～2019年2月28日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 29,802	百万円 1,767	百万円 1,635	百万円 1,879	円 銭 192.55
今回修正予想 (B)	29,700	1,625	1,505	1,802	184.67
増減額 (B-A)	△101	△141	△129	△76	
増減率 (%)	△0.3	△8.0	△7.9	△4.0	
(ご参考)前年同期実績 (2018年2月期)	26,954	1,404	1,280	760	80.43

2. 修正の理由

2019年2月期の通期業績予想につきましては、第2四半期における大雨・台風などの天候不順とそれに伴う直営店舗の臨時休業等の気候要因とあいまって、消費者の低価格志向と特にジュニア世代を中心とした百貨店離れにより、百貨店ブランドの業績が予想を大きく下回りました。一方、ショッピングセンターブランドは、「petit main」、「Lovetoxic」ともに年度を通して堅調に推移し、予想を大きく上回りましたが、百貨店ブランドの業績不振を100%カバーするほどには至らず、売上高は全体で予想に対して微減となる見込みであります。

利益におきましては、期末における棚卸商品評価損の計上などにより売上総利益が計画に対してマイナスになった反面、販管費及び一般管理費が全体でほぼ計画通りに推移したことにより、営業利益は、予想に対して141百万円下回る見込みであります。なお、販管費及び一般管理費を売上総利益のマイナスをカバーするほどに抑えることができなかったのは、販売費及び人件費がともに計画に対して微減となった反面、eコマースにかかる設備投資の内、翌事業年度にかかる設備投資案件の経費計上部分が一部前倒しになったことなどにより

(注) 上記に記載した予想は、作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上